

読んでみよう 解いてみよう
さん太のワークシート

ブルガリア・プロブディフ市の訪問団が岡山市の児童と給食を食べながら交流しました。記事を読み質問に答えましょう。

低学年も
 チャレンジ!

Q1

記事には給食を食べる写真が載っています。どのような話をしていると思いますか。表情などから想像して書きましょう。

Q2

ブルガリアにない習慣は何ですか。第2段落から抜き出しましょう。

Q3

岡山市とプロブディフ市は、1972年に姉妹都市縁組を結びました。何がきっかけでしたか。最後の段落を参考に答えましょう。

過去の問題は
 こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。

岡山
 市と姉妹縁組
ブルガリア・プロブディフ市訪問団



給食を食べながら交流する訪問団と児童

児童の配膳に興味津々

芳明小で一緒に給食

岡山市と姉妹都市縁組を結んでいるブルガリア・プロブディフ市の訪問団が30日、南区万倍の芳明小を訪れ、給食を食べながら児童と交流した。訪問団はズドラフコ・ディミトロフ市長をはじめとする市幹部や実業家ら総勢23人。同小では20人が5、6年生の教室で児童と机を並べて「サラダ中華めん」や特別に用意されたブルガリア名物のヨーグルトを食べ、ノートパソコンの翻訳機能を使って会話を弾ませた。ブルガリアには給食を子どもが配膳する習慣が

ハレノワや岡山城などを見て回る。両市が姉妹都市縁組を結んだのは1972年。駐日ブルガリア大使から市が打診を受けたのがきっかけだった。芳明小児童は2月にブルガリア大使館職員らとオンラインで交流した経緯もあり、今回につながった。(三川創)

6年近藤琉斗君(11)は「いつかブルガリアに行ってみた」「同小林壮汰君(11)は好きな食べ物について話したのが印象に残った」と話した。訪問団は6月4日まで市内に滞在し、岡山芸術創造劇場

なく、児童が用意する様子をスマートフォンで撮影していた。